

## 徳島木育サミット

農林水産部 スマート林業課プロジェクト推進室

## 事業内容

平成31年2月に西日本初となる「全国木育サミットin徳島」を開催し、100を超える企業、団体、個人の皆様の賛同の下「木育共同宣言」を行うなど、木育の機運を醸成してきた。これをレガシーとして継承し、更に発展するため、「徳島で木育を語ろう、知ろう、体感しよう」をテーマに、「第1回徳島木育サミット」を開催した。また、東京おもちゃ美術館の木育キャラバンや木を使ったワークショップも同時開催した。

日時	令和元年11月10日
予算	1,692千円
消費者行政強化 交付金活用額	なし
対象	制限なし
参加人数	約500名
宣伝方法	ホームページ掲載 チラシ配布 等



パネルディスカッションの様子



第1回木育サミットチラシ

## 期待される効果

県産材を使用することもエシカル消費（地産地消）と捉え、「木にふれあい、木に学び、木でつながる」木育の取組を通じて、木を生活の中に取り入れ、使うことで、本県の豊かな森林を未来へ継承する。

## エシカル消費啓発のために工夫した点・今後の課題等

メイン会場では、木育に関する講演や県内の木育活動者によるパネルディスカッションのほか、親子向けの木育コンサートを実施した。また、別会場では木のスプーンづくり体験や、木製品の展示販売、多くの木のおもちゃで遊べる木育広場も設け、家族で楽しんでもらえるよう実施した。

## 参加者の反応・感想

参加者からは「教育や保育の場で木育を拡げてほしい」、「学習あり、参加あり、遊びありとバラエティーに富んでいたのが楽しかった」との意見があった。

## 第2回木育サミットの様子

- ・第1回と同様、「徳島で木育を語ろう、知ろう、体感しよう」をテーマに、「第2回徳島木育サミット」を那賀町で開催、リモートでも県内外から多くの方が参加した。
- ・「徳島木のおもちゃ美術館（仮称）にかける姉妹館・自治体からの期待」をテーマにトークセッションを行ったほか、徳島県初のウッドスタート宣言のまちとして、「県産材利用拡大を目指して建築に木育の輪を広げる」をテーマにパネルディスカッションを行った。
- ・森林のある地方と人が多い都市が、「木育」を通じてつながり、その地域にある「ヒト」や「モノ」などあらゆる資源を活用し、地域課題を木育を通じて解決していくためのアイデアや課題などを共有した。



第2回木育サミットチラシ